

特集

光陵中学校1年生の
皆さんが初めて

議会を
傍聴しました。

授業の一環として議会を傍聴
していただいた光陵中1年生
を代表し、とまべちけんた 苫米地健太君、
たかはしれい 高橋玲維君、やまもとかえで 山本楓さん
にお話を伺いました。



「このまちが大好きです！」

～大好きな伊達市がより魅力的になるには～

【市議会を傍聴した感想は】

▼**苫米地** 最初は、ピリツとした雰囲気だったが、発言した議員が冗談を言っていたりして、リラックスできた。

▼**高橋** 議員の表情から、まちを良くしようという思いが伝わってきた。1人の発言に対し、他の議員皆が真剣に話を聞き、責任感が伝わってきた。

▼**山本** 最初は怖いイメージ。言い争いや議論があるかと思っていたが、議員同士が仲良さそうで安心した。

【議会を知ってもらうためには】

▼**高橋** 会議の映像を、例えば市役所玄関のモニターなどでライブ中継すると良いアピールになるのではないか。

▼**苫米地** 計画等の進みぐあいを周知すべく、広報紙の活用が必要。

▼**高橋** 広報紙は、見出しの色や字体を変えるなど、工夫の余地がある。

▼**山本** 今回の傍聴に際して、議員がにこやかに挨拶してくれた。地域においても、議員との交流を行うべき。

【皆さんにとって、伊達の魅力とは】

▼**山本** 自然が多い。市民が親切。

▼**高橋** 伊達野菜も魅力の一つ。世界にもアピールできる。

▼**苫米地** 気候が良い。また歴史も大きな魅力。新設の「歴史文化ミュージアム」も、歴史が学べて素晴らしい。

【逆に、伊達に足りないものは】

▼**苫米地** 道内でも知名度が低いこと。魅力はあるが、「伊達といえばこれ」という特徴的なものがない。

▼**山本** 三階滝など、自然分野での観光スポットは多いが、それ以外で目玉になるようなものが欲しい。



例えば福祉のまちをもっとアピールするなど。それらがネット等で拡散すると、知名度も上がり、観光客増にもつながる。

▼**苦米地** 単に知名度が高ければいいわけではない。知名度が低ければ低い

なりに、やれることもある。知名度の低さ故に、真の魅力を再発見できる。

【福祉のまち」という話が出たが】

▼**苦米地** 少子高齢化対策として、子どもを産み育てやすい環境が必要。

▼**高橋** 医療等の発展により、平均寿命は延びている。高齢者との交流の機会を増やしてみてもどうか。

▼**山本** 小学校で、高齢者と一緒に遊ぶ機会があった。お手玉などの昔の遊びを教えてもらい、楽しかった。伝統文化に触れることもできた。

▼**高橋** コマ廻しなど、その後も友達と遊び、そこから遊びも広がった。

▼**苦米地** 福祉施設が充実しており、障がい者も、地域に溶け込んで生活しているところが良い。

▼**山本** 障がい者に優しいまちということは実感できる。授業で訪れた福祉施設で利用者さんと話をしたが、「このまちでの生活は楽しい」と言っていた。

▼**高橋** 障がいの有無に関わらず、生活しやすいまちになってほしい。

【都会へのあこがれはありますか】

▼**高橋** 都会も魅力的だが、一日の大半を占める学生生活は、伊達が良い。

▼**山本** 都会の学校で学んだ後、伊達に戻ってきて仕事をするのも地域貢

献。最終的には、伊達で生活したいと思っている人が多いように感じる。

【将来の夢などは】

▼**山本** 伊達市内で旅館を開きたい。大滝区などには大きな旅館があるが、市内にはないように思うので。

▼**高橋** テレビに出る仕事。そこで伊達の話がすれば、アピールになる。

▼**苦米地** 本に関わる仕事がしたい。伊達に住みながら、執筆、出版などの仕事が出来れば最高だと思う。



山本 楓さん

高橋玲維君

苦米地健太君